

## Ⅱ 令和4年度広島かき生産出荷状況

### 1 生産量

区 分	令和4年度		令和 3年度	平 年	
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)			
総生産量(トン)	17,100	-1,100 (94%)	-1,250 (93%)	18,200	18,350
生鮮向け(トン)	6,200	-800 (89%)	-1,230 (83%)	7,000	7,430
加工向け(トン)	10,900	-300 (97%)	-20 (100%)	11,200	10,920

(注)平年：平成24～令和3年平均値

(水産課調べ)

#### (1) 生産量

- ア 総生産量は17,100トンで、前年を6ポイント、平年を7ポイント下回った。
- イ 生鮮向けは6,200トンで、前年を11ポイント、平年を17ポイント下回った。
- ウ 加工向けは10,900トンで、前年を3ポイント下回り、平年と同程度であった。

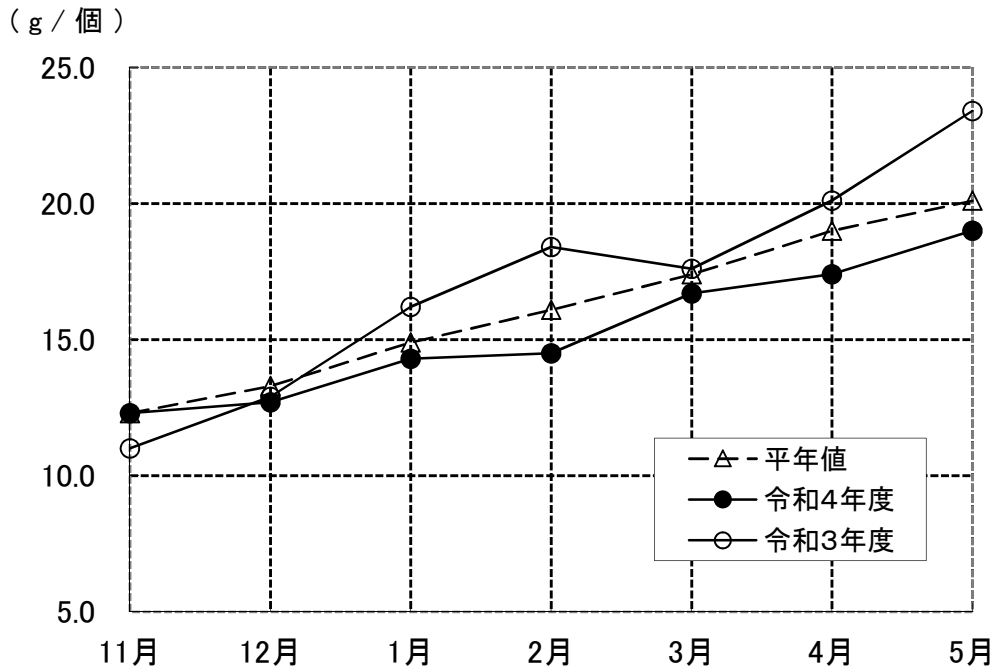
#### (2) 生産状況

- ア 採苗は、かきの餌が多い広島湾北部海域への母貝筏の設置や、かき幼生調査結果等の共有化を図ったことで、7月末には必要数量を確保した。
- イ 出荷は、広島かき生産対策協議会において「起点日と定める10月1日以降において、漁業協同組合ごと、あるいは生産者個々が、かきの身入り、消費動向、需要を見て最善と思われる時期に開始する」ことを決定した。
- ウ 身入りは、漁期始めは平年並みだったが、漁期中盤以降は下回って推移したことから、今期の平均むき身重量は、15.0gとなり、平年を4ポイント下回った。(第2図)

#### (3) 出荷状況

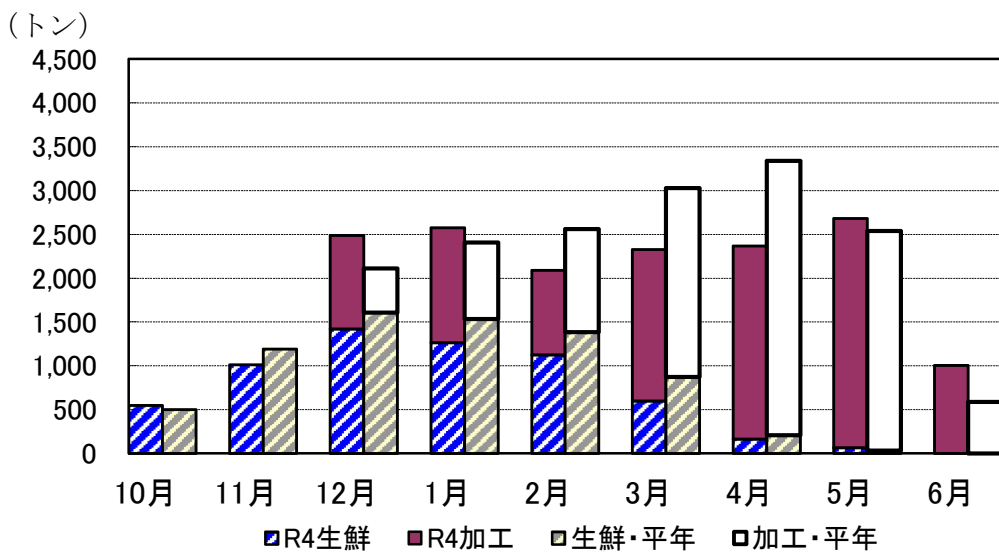
- ア 調査を行った全国の市場へのかき出荷量は、8,171トンで、前年を14ポイント下回った。このうち本県出荷量は、3,151トンで、前年を14ポイント下回った。本県出荷量が全国に占める割合は39%で前年と同程度であった。
- イ 漁期前半の出荷は、生鮮向けがやや低調だったものの、加工向けの引き合いが強く、平年をやや上回って推移した。漁期後半の出荷は、成育不良の影響により、4月までは伸び悩んだが、浜値が終始高値で推移したことから、5月以降の出荷は平年を上回った。(第3図)

県内の年間平均むき身重量は 15.0g となり、前年（16.4g）及び、平年（15.7g）を下回った。



(注) 平年値は平成 24 年から令和 3 年の平均 (水産課調べ)

第2図 月別出荷個体重(県平均)



(注) 平年値は平成 24 年から令和 3 年の平均 (水産課調べ)

第3図 用途別月別出荷量

## 2 生産額

区 分	令和4年度		令和 3年度	平 年	
	対前年度 (比率)	対平年 (比率)			
生産額(億円)	213	+23 (112%)	+39 (122%)	190	174
平均単価(円/kg)	1,246	+204 (120%)	+295 (131%)	1,042	951
生鮮向け(円/kg)	1,540	+250 (119%)	+310 (125%)	1,290	1,230
加工向け(円/kg)	1,079	+193 (122%)	+316 (141%)	886	763

(注)平年:平成24~令和3年平均値

(水産課調べ)

### (1) 生産額

ア 生産額は213億円で、前年を12ポイント、平年を22ポイント上回った。

イ 生鮮向け生産額は95億円で、前年を5ポイント、平年を5ポイント上回った。

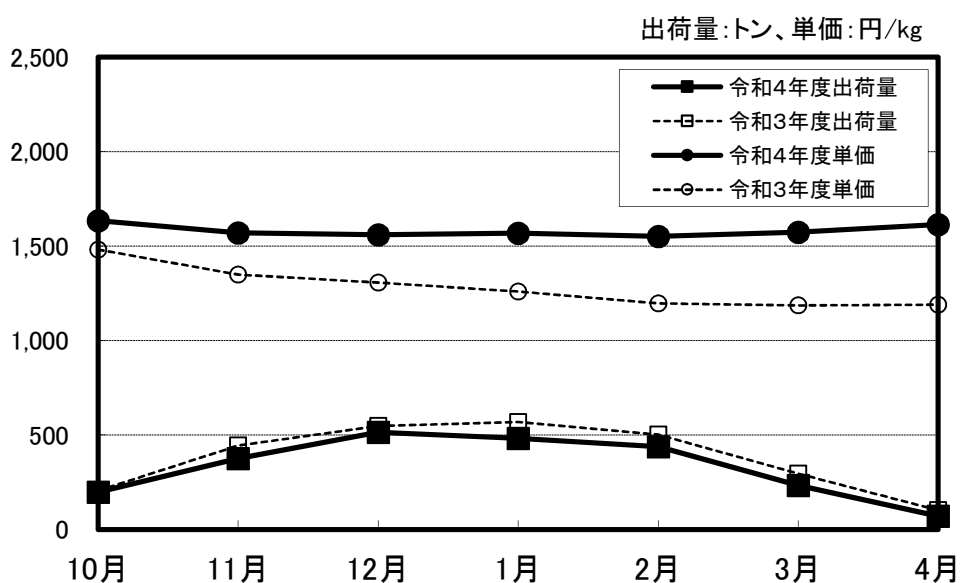
ウ 加工向け生産額は118億円で、前年を19ポイント、平年を41ポイント上回った。

### (2) 単価

ア 平均単価は1,246円/kgで、前年を20ポイント、平年を31ポイント上回った。

イ 生鮮向け単価は1,540円/kgで、前年を19ポイント、平年を25ポイント上回った。

ウ 加工向け単価は1,079円/kgで、前年を22ポイント、平年を41ポイント上回った。



第4図 主要市場への出荷実績

(水産課調べ)